

予防の強化と早期発見の推進

がんにかからない生活習慣の確立

【新】とやま快眠習慣応援キャンペーン(450万円)
県民の睡眠満足度を向上させ、メタボリックシンドローム等の予防につなげるための県民参加キャンペーンを実施

【新】「みんなで歩いてとやまを元気にしよう！」ウォーキングファンドキャンペーン(500万円)
県民の1日の歩数目標の達成を目指し、参加者の総歩数の増加に応じて県が社会貢献活動を実施するキャンペーンを実施

【拡】とやま「美味しい減塩」推進キャンペーン(150万円)
県民の塩分摂取量の減少に向け、企業と連携し減塩メニューを提供及び減塩の取組みが必要な者に対しその重要性を周知

【拡】野菜をもう一皿食べようキャンペーン事業(350万円)
野菜摂取1日350gを目指し、企業と連携した啓発等を実施

【新】フレイル予防に向けた食生活改善普及啓発事業(160万円)
地域住民や高齢者を支援する従事者へ栄養・食生活に関する知識及び技術の普及

【拡】食の健康づくり推進事業(530万円)
野菜たっぷり、減塩、シニア向け(小盛)などのメニューを提供する「健康寿命日本一応援店」の普及

・その他関連事業(3,123万円)
ウォーキング等の運動習慣の定着や、青少年期における健康づくり教育、健康づくりボランティアへの研修等

・受動喫煙防止対策推進事業(312万円)
改正健康増進法の全面施行に伴う受動喫煙防止の相談・指導対応等

・たばこ対策関連事業(43万円)
年代別パンフレットの配布等による普及啓発等

肝炎対策事業

・肝疾患診療連携拠点病院運営事業(660万円)
指定拠点病院の運営補助

・ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業(344万円)
肝炎ウイルス検査費用の助成や肝炎ウイルス陽性者へのフォローアップ、職域での検査促進事業の実施

・職域での肝炎ウイルス検査促進事業(71万円)
検診機関等での受診勧奨

・肝炎治療特別促進事業(7,665万円)
B型・C型肝炎ウイルスの治療に係る医療費助成

【拡】肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業(3,123万円)
B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がんや重度肝硬変(非代償性肝硬変)に係る入院医療費助成

がんの早期発見体制の強化

【新】WITHコロナがん検診受診促進特別支援事業(280万円)
令和2年度の節目検診等の対象者(40歳等)のうち、未受診者を対象に、特例的に自己負担を軽減することで、受診を促進

・職域がん対策・横展開促進事業(43万円)
健康経営の観点から、がんの早期発見・早期治療の重要性や仕事と治療の両立について理解を促すため、事業所等における出前セミナー開催へ支援

・節目検診・重点年齢検診推進事業(2,797万円)
市町村の節目年齢検診(5歳毎)等へ助成及び市町村の胃がん検診受診率向上のため、50歳代の受診(2回)に係る受診料軽減を支援

・市町村のがん対策推進員活動支援(380万円)
がん対策推進によるがん検診の受診勧奨及び研修会の開催等

・中小企業がん検診推進事業(75万円)
商工団体の活動への支援

・企業と連携したがん検診推進事業(26万円)
がん予防推進員の養成

・健康診査管理指導事業(109万円)
がん検診従事者を対象とした講習会、症例検討会の開催等

【市町村がん検診受診率】

	胃	肺	大腸	子宮頸	乳房
H30	20.1	33.4	26.5	27.5	28.8
H27	12.9	33.8	26.6	27.5	29.6

厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」より作成

【市町村・職域を合わせたがん検診受診率】

	胃	肺	大腸	子宮頸	乳房
R1	44.5	52.5	43.0	38.8	39.4
H28	44.6	50.5	41.4	39.9	40.1

厚生労働省「国民生活基礎調査」より作成



質の高い医療の確保

質の高い医療が受けられる体制の充実

・(国指定)がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金(5,310万円)
国指定拠点病院の運営補助

・(県指定)がん診療地域連携拠点病院事業費補助金(600万円)
県指定拠点病院の運営補助

・診療情報管理士研修会(32万円)
拠点病院における院内がん登録の精度管理向上のための研修会を開催

・がんゲノム医療
がんゲノム医療中核拠点病院 富山大学附属病院
がんゲノム医療拠点病院 県立中央病院

調査・研究の推進

・がん疫学調査事業(1,303万円)
全国がん登録の実施により、がん医療の技術の向上に資するもの

【富山県立中央病院「先端医療棟」】

手術支援ロボット「ダヴィンチ」 内視鏡センター



推進体制の強化

・がん対策推進県民会議・がん対策推進協議会の運営(113万円)



患者支援体制の充実

がん患者の支援体制の充実

・がん総合相談支援センターの運営(1,595万円)
幅広い相談に対応する総合相談窓口の運営等(H25.9サンシップ内に設置)

・がんのピアサポーター養成事業(122万円)
がん経験者等でがん患者を支援するピアサポーターの養成

・がんのピアサポーターフォローアップ研修事業(35万円)
ピアサポーターの資質向上

・がん患者サロン交流事業(82万円)
ピアサポーターによる交流サロンの開催

・乳がん患者活動支援事業(33万円)

・がん患者在宅療養支援体制整備事業(123万円)
医療・保健・福祉関係者事例検討会の開催や医師、コメディカル等向け研修会の開催

働く世代やライフステージに応じたがん対策の充実

【新】小児・AYA世代支援事業(550万円)
がん医療及び生殖医療のネットワーク構築の推進及び生殖機能温存治療費の助成

・小児・AYA世代の交流(50万円)
小児やAYA世代のがん患者・家族の不安軽減や療養意欲向上のための交流会等の開催

・小児・AYA世代のがん相談体制強化(41万円)
小児・AYA世代のがん患者支援に関するセミナー開催



がん総合相談支援センターの様子
※看護師4名による相談対応

【ピアサポーター登録者数】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
ピアサポーター登録者数	38人	53人	71人	73人	90人	113人

【県がん総合相談支援センター・拠点病院相談センターの相談件数】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
相談延べ件数	4,469件	4,530件	4,670件	5,169件	5,958件	6,351件